

令和5年度職員による自己評価結果について

学園では、教育目標の達成に必要な評価項目を設定し12名の教職員(会計年度任用職員も含む)が各評価項目を、「適切：4点」「ほぼ適切：3点」「やや不適切：2点」「不適切：1点」の4段階で評価し、結果は以下のとおりであった。

各項目の評価値の平均は、3.4(国際交流を除く)で、最高3.5、最低3.1であった。

・「教育理念・目標」「学校運営」

学園では、「子どもや保護者の心を受け止める力の育成」、「現場に強い実践力の育成」、「自ら課題を見つけ主体的に取り組む力の育成」と三つの教育目標を掲げ学生の育成に努め、今年度で70周年を迎えた。

これまで保育業界に4,000人を超える人材を排出し、ニーズに対応してきた。学園での授業や実習においても、保育所やこども園、施設等の関係者のご協力を頂き運営している。

また70周年記念式典において、長年にわたり学生の育成に尽力いただいた講師の方々を表彰させていただくとともに、多くの同窓生や在校生と共に学ぶ場を持ち、交流を深めることができた。

「教育理念・目標」の評価点は3.4、「学校運営」の評価点については3.3であった。毎週1回教務課会議、月1回の運営会議及び附属子ども園との連絡会議を開催して、情報を共有し連携を図っている。

また第三者による学校評価として「保育専門学園運営委員会」を、学校関係者による評価として「保育専門学園学校関係者評価委員会」の開催を予定している。

・「教育活動」

「教育活動」についても、評価点3.3であった。保育学科の就業期間は2年間と短いですが、保育に必要な分野の知識や技能が習得できるカリキュラムにしている。特に選択科目は、より実践的で、かつ現場で活用できるようなカリキュラムであり積極的に履修するように指導している。

授業内容は、各教員の意見及び学生の授業評価等も参考にしながら見直し、次年度の授業に反映している。保育実習では、学園で履修した知識・技能を基礎とし、現場での体験を通して保育の理論や技能を総合的に習得している。

3月に卒業する学生には、今後の職場への理解と激励のため、卒業生を招聘し「卒業生と語る会」を2月に予定している。

・「学修成果」

「学修成果」は、評価点3.4で、卒業生全員が保育士資格を取得する予定である。

また、保育士資格に加えて、幼稚園教諭になるために、短期大学通信教育部との併修（2年64%、1年84%）をしておりその支援も行っている。

就職を希望する学生のほとんどが、保育士・保育教諭の資格を生かした職に就いている。

・「学生支援」

「学生支援」は、評価点3.4で、年1回の健康診断や実習前に検便を行うとともに、学生に対し自己の健康管理ができるように支援している。

また経済的な問題を抱える学生に対し、安定した学習環境が維持できるように、各種支援情報の提供、生活状況の確認や相談に応じている。

学生には、就職希望先を考慮した保育実習先の選択や就職先の事前訪問等をすすめるように指導するとともに、職員による模擬面接、小論文の添削指導なども行い就職活動を支援している。また、保育士フェアにも積極的に参加し、就職先選定の参考にするように促している。

卒業生の中には、近況を知らせに学園に立ち寄る者も多いが、就職しても短期で離職する者も見受けられるため、卒後1年目の支援として6月～8月にかけて職員が職場を訪問し、面談して現況を把握するとともに様々な悩み事の相談に応じている。

また卒後3年目と6年目の者に文書による就職状況調査を実施しており、現在、令和5年度分は調査中である。

・「教育環境」

「教育環境」の評価点は3.1であった。建物や設備の老朽化は進んでおり十分に整備されているとは言えないが、今年度からオンラインによる授業ができる体制となり通信環境が整った。また、附属の認定こども園を敷地内に持つことで、常に保育環境や現場の雰囲気を感じることができ、保育現場への意識や保育に対するモチベーションの向上へとつなげている。

災害対策に関して、学園及び泉こども園全体での避難訓練を年2回実施している。

・「学生の受け入れ・募集」

「学生の受け入れ・募集」の評価点は3.5であった。保育学科の定員60人のところ、令和5年度入学者数は41人で定員を下回ったが、学生募集に向けて8月に2日間のオープンキャンパスを実施したところ78人の参加があり、学園の特徴や模擬授業体験、在学生との交流等を行った。また、オープンキャンパスに参加できなかった生徒には、随時、個別に学園見学を受入れ、授業見学、学生との交流を行っている。

今年度の受験者のうちオープンキャンパス等に参加した者は約9割おり、オープンキャンパスは生徒募集に有用であることがわかった。

その他、入学生を増やすために、高等学校が開催する学校説明会への職員派遣や、「進路説明会における卒業生と語る会」に学生を派遣するなど、保育士の魅力を説明し学生の確保に努めている。

なお、保育士資格に加え、短期大学との併修により幼稚園教諭の資格が取得できるよう体制を整えている。

・「財務」

「財務」の評価点は3.4であった。学園の目的や役割を果たすため、適切な予算執行を行っている。収入については、授業料等、収入の確保に努めている。支出については、光熱費や庁舎管理委託料等の経費節減に努めている。

・「法令等の遵守」

「法令等の遵守」の評価点は3.5であった。文部科学省が確認する機関要件について、大学等における修学の支援に関する法律(「大学等修学支援法」)施行規則第5条第3項に基づき、毎年更新申請を行っている。

また、同規則第7条第2項に基づく更新確認申請書の公表も行っている。

・「社会貢献・地域貢献」

「社会貢献・地域貢献」の評価点は3.5であった。地域住民との交流の機会の一つであった保専祭(文化祭)については、実習と実習との間で準備期間も短かったが、学生の家族や泉こども園の親子など外部からも招待しにぎやかな雰囲気であった。

また、保育に関連し社会性を獲得する機会としてのボランティア活動については、障がい者スポーツ大会に学生が参加し、支援・交流を深めた。

なお、県内保育士を対象とした公開講座は予約制で年度内に2回行う予定である。

平成27年度から施行された子ども・子育て支援新制度における「認定こども園制度」への円滑な移行・促進のために、石川県内の幼稚園教諭に対して、「保育士資格取得のための特例講座」を開講している。

・「国際交流」

留学生の入学者及び入学希望は今のところはない。